

1. 経営発達支援事業

項目	実施事業	事業内容	本年度目標a	実績(4月～3月)b	目標達成度(b/a)	外部評価	実績の内訳	自己評価	今後の計画等
I 地域の 経済動 向調 査	①「小規模企業景気動向調査」の実施	○対象:5業種(製造業、建設業、小売・卸業、サービス業) ○調査方法:毎月巡回 ○調査内容:対前年同月比「売上額」、「仕入単価」、「採算」、「資金繰り」、「業界の業況」の5項目について調査し、整理・分析を行う。	12回	12回	A		①「小規模企業景気動向調査」 ○調査結果の報告 ・県商工会連合会で県内各商工会から報告した結果をまとめた月単位での「小規模企業景気動向調査報告書」を発行 ・加えて、今なおコロナの影響を受けている飲食業等を主体に個別に業況確認を行った。 ・森町商工会会員への周知(商工会HP) ・その後の経営計画書作成等支援への活用	1.「小規模企業景気動向調査」 ・管内小規模事業者の景気の動向を行い現状把握に務めると共に、県商工会連合会が集計した静岡県下の景況DIJについて、森町商工会ホームページに掲載し周知した。 ・合わせて新型コロナウイルスに係る支援メニューの情報提供につなげた。	・今後も継続して小規模事業者を主体とした現況の把握に務めると共に今後は地域経済分析システム「RESAS」を活用した地域経済動向を調査し、のちの事業展開に生かしていく。
	②「他の支援機関が公表する景気動向調査」の活用	○機関:日本政策金融公庫 ○調査:景況レポート(四半期ごと)	4回	4回	A	計画通り実施された。当会の取得した1次情報と合わせた分析が期待される。	②「他の支援機関が公表する景気動向調査」 ・上記調査と合わせ、その後の経営計画書作成等支援への活用	2.「他の支援機関が公表する景気動向調査」 ・管内の小規模動向のみならず、マクロ的な情報として役立つことができた。	
II 経営 状況 の分 析	①対象者の掘り起こし	○経営状況の分析の必要な小規模事業者を抽出。	40件	小規模事業者 393件	A		①対象者の掘り起こし 森町中小企業者等産業振興支援事業(森町経営継続応援補助金)を実施するに当たり当会会員事業所中、町内に事業所等を有する439件を対象にチラシ等で広報し掘り起こしにつなげた。(小規模事業者は393件)	・これまで経営計画書策定の経験がなかった62件の小規模事業者の掘り起こしにつなげた。 ・個々の課題解決に向けた経営計画書作成に導いた。	・今後もタイムリーな情報提供及び小規模事業者の経営分析をとし、国や県の補助金あるいは経営革新計画へのチャレンジなど利用を高め経営計画書の作成等につなげていく。
	②経営状況の分析	○定量分析(税務)や定性分析(SWOT)等による分析。	30件	小規模事業者 94件	A	森町の施策である森町経営継続応援補助金の事業実施に伴い円滑な遂行に貢献すると共に本事業における目標も大きく上回る事ができた。	②経営状況の分析 上記のうち117件が事業申請を希望したため現状分析を実施した。(小規模事業者は94件)		
III 事業 計画 策 定 支 援	①事業計画の策定支援	○既存事業者を対象に事業計画の策定を支援する。	事業計画策定数 25件	事業計画策定数 小規模事業者 延べ112件	A	森町独自の補助金申請を支援したことで目標を大幅に上回った。それだけでなく、持続化補助金や経営革新計画策定でも実績をあげており、その取組は高く評価できる。	○事業計画策定 ①森町経営継続応援補助金 117件 (うち小規模事業者94件) ②静岡県経営力向上事業費補助金 第1回～第3回:合計7件 やさい畑、畑7福神、畑ALIVE WORKS ソーイングミクラ、かねとよ、畑、磯石川園 朝日製粉 ③小規模事業者持続化補助金 【一般型】第5回～第6回:7件 にしおか自動車、(有)レッカーランドフクカワ (有)エムディー、雅美工芸(有)、乗松刃物 ゲストハウス森と町、カワムラファーマシー 【旧コロナ型】2件:かねとよ、翠清 ④経営革新計画策定支援 ・村澤建築、磯石川園	・「経営状況の分析」を行った117件のうち94件の小規模事業者事業者の申請にこぎつけ全件採択となった。 ・経営状況の分析対象ではなかった者についても、静岡県あるいは国の補助金を希望した者についても計画策定支援を行い、静岡県の補助金では全員採択、国の補助金では一般型4件、旧コロナ型1件が採択された。 ・また、森町経営継続応援補助金の申請を希望したにも係らず申請受付に至らなかった4者(朱書き)に対し、静岡県版の補助金を紹介し支援したところ全員採択されたことは大きなフォローにつながった。	●創業塾 ・中遠地域において、創業を検討している者や創業間もない者を集約して総合講座を開催することで、効率的・効果的に支援を図ることができた。 ・受講者にとっても、創業に必要な基礎知識の取得とともに、必要なビジネスプランの作成方法を具体的に学べる機会として、7日間という密度の濃い講座を通じ起業・創業がより現実化したと思われる。 ・今回受講を希望した者は定員をオーバーする20名から応募があった。森町からも1名希望したが、抽選により12名選考し森町の1名は残念ながら選漏れした。(その後個別にフォローした) ●個別相談会 ・単独開催の個別相談会では、開業に伴う記帳・税務の知識・事務処理方法や労働保険制度等を説明し、相談者の理解を深めた。 ・創業者の掘り起こしとして町内全域に広報が行き渡るよう折り込みチラシにより町内満遍なく行き渡るよう周知・募集を図った。
		●創業を目指す者、創業間もない者を対象に事業計画の策定を支援する。	創業計画策定数 10人	創業計画策定数 12人	A	受講生が「創業塾」に参加した際の様子やセミナー後の状況等を連携した商工会で共有し、次回開催に生かしていくことが望まれる。	●近隣商工団体との広域連携「創業塾」 実施日:3年9月28日(火)、10月5日(火)、8日(金)、15日(金)、19日(火)、22日(金) 28日(木)の7回(19時から20時45分) 会場:磐田市商工会 主催:磐田市、浅羽町、森町の3商工会 受講者:12名 講師:中小企業診断士 五島宏明氏 ●個別相談会 (1)実施日(会場:森町商工会) ①3年12月4日(土)10時～12時 相談者:1名(3年11月開業) ②4年2月11日(金)10時～12時 相談者:2名(うち1名3年4月事業再開) (2)広報 ①新聞折り込み、集合チラシ (3)個別相談会以外 相談者:4名(創業希望者1名、間もない者3名)		
IV 事業 計画 策 定 後 の 支 援	③事業計画策定後の支援	○既存事業者向けフォローアップ	25件	小規模事業者 延べ109件	A	計画策定後の支援も重要であり、この目標も大幅に上回っている。支援対象となる事業が多く、相手先の必要度に応じたメリハリが重要になる。	○補助金の採択を受けた以下の者を対象に実施(但し、持続化補助金は現在実施中)。 ①森町経営継続応援補助金 (117件のうち小規模事業者94件) ②経営力向上事業費補助金(7件) ③小規模事業者持続化補助金(6件) ④経営革新計画承認企業(2件)	・既に事業を完了した者に関しては事業完了に向け個別の対応を行うことで適正に実施した。 ・持続化補助金に関しては事業の進捗状況等の把握に務め事業完了に伴う実績報告書策定支援に務めた。 ・経営革新承認企業先において進捗状況報告書の策定につきフォローを行った。	・今後も事業計画策定支援先を主体に継続してフォローアップに務めていく。
		○創業を目指す者、創業間もない者向けフォローアップ	15人	12人	B	創業者にとっては創業後のフォローアップが特に重要になるので、着実な実施が求められる。	○創業塾受講者対象個別相談会(連携) 開催日:3年11月2日(火)、4日(木) 10時から17時 内容:事業計画書の策定等 講師:中小企業診断士 五島宏明氏 受講者:12人	・事業計画の策定を具現化するために個別相談会を開催し、受講者全員が策定した。	・今後も3商工会連携での事業を展開していく。

項目	実施事業	事業内容	本年度目標a	実績(4月～3月)b	目標達成度(b/a)	外部評価	実績の内訳	自己評価	今後の計画等
V に 新 奇 た な 需 要 事 業 拓	①販売機会情報提供と出店支援	○販路開拓支援のための県内外での展示会や販売会などの情報提供、出展支援	40件	述べ16件	D	コロナ禍によりイベントの中止、縮小が相次ぐ中の工夫として、静岡県商工会連合会等との連携やその事業の活用が見られる。	○県道販路開拓支援事業 2件 (石田茶店、松浦製茶) ○県道チャレンジショップ 出品 3件 (中島屋、花ぎょうざ、レッカーランドフカワ) ○販売促進支援事業 2件 鈴精機:東京ビッグサイト 山口園:しずおかお茶マルシェ(松坂屋) ○県道逸品サイト商品掲載 9件 (田米陶房、花ぎょうざ、中島屋、菓匠あさおかおさだ製茶、八幡屋茶舗、松浦製茶、石田茶店レッカーランドフカワ)	・県道販路開拓支援事業を活用し販路開拓への支援を講じると共に静岡伊勢丹のチャレンジショップ(県道運営)に3件が出品した。また、県内外で開催される催事等へ出展した事業者の係る経費の一部を助成を実施。 ・しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が今なお続いているため、予定した催事の中止等もあり支援数が大幅に下回った。	・今後もタイムリーな情報提供を通し販路開拓に資するよう継続して取り組んでいく。

2. 地域の活性化に資する取り組み

I 地 域 経 済 活 性 化 に 資 す る 取 組 み	①地域経済の活性化に資する取組み	①森町創業者支援会議への出席	年2回	1回	C	金融機関や他支援機関との連携が求められており、継続した情報交換が望まれる。	○開催日 令和4年3月23日(水) 10時～11時 ○会場 森町町民生活センター1階 ○出席者 静岡銀行、浜松磐田信用金庫 遠州中央農協、信用保証協会 よろず支援拠点、日本政策公庫 ○内容 ・ワンストップ相談窓口 ・創業講座 ほか意見交換	・森町特定創業支援事業の実施主体として森町と連携して創業支援に取り組んでいる。創業相談には対応しているものの、特定創業支援事業を受けた証明書の発行につながった者の輩出ができていない。 ・1つの要因として、創業相談が単発で終わってしまうことが多く、継続したフォローができていない。そのため次年度は継続フォローの対応が図れるよう相談者カルテを改める。	○特定創業支援事業を受講した証明書の発行者数を輩出する。そのため、3商工会合同による「創業塾」や当会が単独で実施する「創業個別相談会」を通し、証明書取得メリットを伝達するなどPRIにも努めている。
		②「遠州森町次郎柿ワイン」ブランド化事業	会議の開催2回	会議の開催2回	A	「遠州森町次郎柿ワイン」の着実な販路開拓支援が求められる。	○製造販売22年を迎えた令和3年度。町内15の酒販店で製造本数約2,100本を予定しましたが、治郎柿の不作により今回の製造販売は中止となった。	—	○令和4年度の事業に向け、静岡県西部しんきん地域振興財団所管の「地域活動助成金」を申請。申請補助金額は300,000円で、採択の結果は4月上旬ごろに発表予定。 事業名:「遠州森町次郎柿ワイン」事業を通した地場産業振興活動

3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上のための取り組み

II 経 営 指 導 員 等 の 資 質 向 上 等 に 関 す る こ と	②森町商工会が小規模事業者の期待に応える経営発達支援事業を行うため職員教育研修を実施する。	○スキルアップ研修	回数: 2回	回数: 10回	A	静岡県商工会連合会の「商工会OB等によるOJT推進事業」を活用しており、OJTの効果が期待される。	○職場内研修 県連「商工会OB等によるOJT推進事業」活用 ・実施日: 3年11月15日から4年2月28日の間 全15回 ・講師: 商工会OB 岡本勲氏 (前浜北商工会) ・受講者: 職員3名(大澤、長谷川、平野) ・テーマ 「組織的な支援体制に向けて」	・令和3年度より職員の名称変更が実施された。補助員、記帳専任職員が「経営支援員」となり将来の経営指導員候補として位置づけされた。(大澤、長谷川) ・昨年度まで北川診断士を講師に招き小規模施策等の学習機会を設け実施してきたが、今年度同事業の採択を得たため全15回に亘る研修会を継続実施できている。 ・主な内容は「巡回」と「SWOT分析の策定演習」で「巡回」では、その必要性や方法を学習し令和4年度の個人目標を設定。「SWOT分析」では毎回事例を元に個人ワークを取り入れ実施した。	・今後も職員のスキルアップを図るため継続して実施していく。
		○支援ノウハウ共有 ①職員ミーティングの開催 ②データの一元管理	—	—	—	—	今後も継続して実施されることが期待される。	①職員ミーティングの開催 毎週月曜日朝礼開催 ②データの一元管理 巡回データを月報として適宜供覧	①職員ミーティング 研修会等に出席した際には、復命書のほかワンポイント的に報告等を行い、意見交換や情報共有につながっている。 ②データの一元管理 県連のシステム(基幹システム)にて、指導等に係るデータを一元管理しており、相談履歴の共有を図っている。